

# DAIKUEI

*Vol.83*



〔目 次〕

巻頭言（古新亮英会長）……………	1	憲法施行記念式で協会・安原氏受賞……………	18
第45回 定時総会を開催……………	2	「優秀建設施工者」で協会推薦者受賞……………	18
平成30年度 事業計画……………	5	4団体協議会を開催……………	19
平成30年度 理事業務分担……………	6	告知板（賛助会員募集・行事予定）……………	21
専門委員・青年部会の紹介……………	7	「うめきた」2期事業者決定……………	22
新入社員研修を実施……………	8	大阪市 地下水空調の省エネ性能実証……………	24
日空衛 第70回定時総会を開催……………	11	ニュースリーダー……………	25
日空衛「実践スローガン」……………	13	ファイル……………	26
日空衛「働き方改革行動計画」……………	14	電気/給排水/空調設備講習会のご案内……………	28
日空衛 近畿支部会を開催……………	16	暑中ご挨拶(会員一同)……………	30
青年部会 日赤に寄付……………	17	編集後記……………	32

(表紙写真)

**J R 大阪駅から望むグランフロント大阪 (うめきた)**

再開発エリア「うめきた」エリアの先行開発区域として2013年4月に開業した複合商業施設。南館（延床面積約18万8000㎡）、北館（タワーB・タワーC合わせて延床面積約29万5500㎡）、オーナーズタワー（延床面積約7万3800㎡）の4つの主要ビルで構成される。”知的創造拠点”「ナレッジキャピタル」（北館）を中心にショップ&レストラン、オフィス、ホテルが集結し、平日・休日を問わず多くの人でにぎわう。

ご

挨拶

拶



会 長 古 新 亮 英

会員・賛助会員の皆様には、当協会の活動にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

はじめに、さる6月18日に発生しました大阪府北部を震源とする地震と7月5日から6日にかけて発生しました全国的豪雨において被災された皆様、関連企業の皆様には心よりお見舞いを申し上げますとともに、一刻も早い復旧・復興をご祈念申し上げます。

2018年における我が国経済は、海外経済の緩やかな回復と、それに伴う国内の輸出や生産の堅調な推移により、企業収益は過去最高水準となりました。個人消費は、雇用、所得環境の改善により緩やかな回復基調が続きました。建設業界におきましては、都市部での再開発や宿泊施設、物流施設の新設等の順調な民間設備投資に支えられ堅調に推移しているものの、技術者・技能者の不足と高齢化等、厳しい状況の中、顧客ニーズの変化に的確に対応していくことが求められる時代になっています。

このような環境のもと、担い手の確保・育成が喫緊の課題である空調衛生工事業界におきましては、若年層や女性の入職者の拡大を図り、かつ高齢層も働きやすい環境を整備していくために、長時間労働の是正、週休2日の確保など、「働き方改革」を加速的に推進する必要があります。こうした「働き方改革」を支える重要な取り組みとして、受発注者双方による「適正な工期設定」の推進や「限られた人材の効率的な活用」の促進が期待されています。

このため、国土交通省では、昨年8月に策定した『建設工事における適正な工期設定等のためのガイドライン』に示す、適正な工期設定（発注者の役割）や工期ダンプの禁止（受注者の役割）といった受発注者双方に対する責務の制度化に向け、検討を進めることとしております。また、適正な施工の確保に重要な役割を担っている現場の技術者については、限られた人材の効率的な活用のための生産性向上を目的として「技術者配置要件の合理化」や、仕事の効率化や手戻りの防止を目的として「受発注双方が施工上のリスクを事前に情報共有できる仕組み」等の施策に着手することとしております。このような「働き方改革」の取り組みが早期に制度化され、実効性のあるものとなるように、関係団体と共に、国土交通省に要望してまいります。

一方、当協会が空調衛生工事業を担う人材育成の一環として開催しております『配管技能コンテスト』も、今年で第10回目の佳節を迎えます。配管工の技能向上と後継者の育成が図られるよう、関係団体や工業学校等とも緊密に連携しながら、記念大会として取り組んでまいります。

空調衛生工事業界は、『低炭素社会づくりへの取り組み』の一層の推進を図るために、更なる省エネとCO<sub>2</sub>削減のための技術を磨くとともに、地球環境の保全に貢献する産業であり、働く人を大事にする魅力ある産業であることをこれからも発信してまいります。

当協会は、『社会貢献に取り組むとともに、会員のためになる団体運営』を目指し、設備工事業界の発展に尽力してまいります。ご支援賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員・賛助会員各位の益々のご発展とご健勝をお祈り申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

## 第45回定時総会開催

# 設備業界の向上めざし「働き方改革」を積極推進

## 30年度の事業計画・予算など決定



一般社団法人大阪空気調和衛生工業協会の第45回定時総会は5月15日（火）、大阪市中之島のリーガロイヤルホテルで開催し、配管技能コンテストの実施、賛助会員との交流促進、青年部会活動の拡充など平成30年度の事業計画を決定した。

定時総会は定刻午後3時30分、林壽二専務理事の司会で始まり、総会出席者数（委任状提出者含む）が定款第20条の規定の定足数を満たしているので本総会が有効に成立していることを報告した。続いて、挨拶に立った古新亮英会長は、建

設業の受注が底堅く推移する中で関西の空調衛生設備業も需要そのものは堅調に推移していると述べる一方、「技術者不足や建設コストの高騰で受注競争の激化が予想される」と、依然として経営状況の厳しさを指摘。「担い手の確保・育成が喫緊の課題であり、若年層や女性の入職者の拡大を図り、かつ高齢層も働きやすい環境を整備していくために長時間労働の是正、週休2日の確保など『働き方改革』を加速的に推進する必要がある」とし、国土交通省が今年春にまとめた「長時間労



挨拶する古新会長

働の是正」「技能と経験にふさわしい給与と社会保険加入の徹底」「i-Construction推進を通じたICTの活用等による生産性向上」の三つの新施策に基づく建設業働き方改革加速化プログラムに沿って業界として積極的に取り組んでいく考えを示した。

定款第19条の規定により会長が議長に就任し、古新議長は定款第26条の2の規定に基づき議事録署名人として、下記の両名を指名し、会員に諮ったところ全員異議なく了承したので、両名を議事録署名人に指名した。

議事録署名人 福原 保豊  
同 藪本 繁明

両名はこれを了承した。

続いて、古新議長は提案の議案内容の説明について、議事進行の都合上、議事次第の順序を次のとおり一部変更したい旨申し出た。

第1号議案「平成29年度 事業報告の件」と第3号議案「平成30年度 事業計画（案）の件」を委員会ごとに説明し、次に第2号議案「平成29年度 決算報告の件」、第4号議案「平成30年度 収支予算（案）の件」は事務局より一括して

説明を行い、その後、監事から監査報告を行った後に、議案ごとに順次諮っていきたい。

以上について議長が会員に諮ったところ全員異議なく了承された。

#### 議事審議の経過と結果

第1号議案「平成29年度事業報告の件」

第3号議案「平成30年度事業計画（案）の件」

各委員会の担当理事が議案書に基づいて事業報告の件、事業計画（案）の件をそれぞれ説明した。

総務委員会 前田 隆司理事

経営委員会 北村広外志理事

広報委員会 木村 之彦理事

技術委員会 中尾 弘昭理事

労務委員会 若林 尚史理事

第2号議案「平成29年度決算報告の件」

第4号議案「平成30年度収支予算（案）の件」

林専務理事は議案書に基づいて第2号議案、第4号議案を説明した。

平成29年度正味財産増減計算書に基づく決算報告は

経常収益	計	43,958,514円
経常費用	計	43,009,829円
当期正味財産増減額	計	165,685円
正味財産期末残高	計	36,456,377円

となる旨を報告した。

次に、平成30年度収支予算（案）について、経常収益計は、42,981,950円、経常費用計は、45,302,650円、予備費1,000,000円を計上した旨を説明した。

#### 「会計監査報告」

東 琢監事は、平成29年度決算報告について、会計に関する帳簿等関係書類を監査の結果、適正に処理されていることを認める旨を報告した。

古新議長は、前もって承認を得たとおり、第1号議案から第4号議案までを順次会員に諮ったところ、すべて全員異議なく承認された。



懇親会では活発な交流が繰り広げられた

#### 第5号議案「役員選任の件」

古新議長は、平成28年5月17日に就任または重任した現役員及び平成29年5月16日に就任した現役員が定款第31条の規定により、本定時総会の終結の時をもって任期が満了するので、定款第28条の規定による新役員の選任を行いたい旨を告げ、その選任方法を会員に諮ったところ、議長に一任されたので、議長は役員選考委員として次の4名を指名した。

㈱テクノ菱和大阪支店 星野宏一、東洋熱工業  
 ㈱大阪支店 平田順一、ダイクウ㈱ 中村淳一、  
 柳生設備㈱ 福地文雄

古新議長は、選考委員による別室での協議のため暫時休憩する旨を述べた。

▽                      ▽

小憩後、選考委員による選考結果を受けた議長は、新しい理事22名と監事2名の役員候補者を次のとおり発表した。

#### ◇理 事

北村広外志、木村之彦、古新亮英、近藤 徹、  
 白木博之、城口俊雄、中尾弘昭、中村淳一、  
 林 壽二、平田順一、福地文雄、福原保豊、  
 星野宏一、前田隆司、若林尚史、  
 (以上重任)

古閑一誠、小島和人、後藤逸文、小松良行、  
 瀬尾恵勇、田中幹武、辻 武寿、  
 (以上新任)

#### ◇監事 東 琢(重任)、金子達哉(新任)

古新議長は役員候補者について会員に諮ったところ、全員異議なく承認された。

以上で第45回定時総会の議事が全て終了したので古新議長は午後4時25分閉会を宣言した。

◇

この後、午後5時から会員及び賛助会員が参加して懇親会を山楽の間で盛大に開催し、参加者の活発な交流が行われ、午後6時30分、散会した。

平成30年度

# 事業計画

自平成30年4月1日 至平成31年3月31日

## 総務に関する事業

1. 総会及び新年交礼会等の開催
2. 叙勲、褒章並びに大臣表彰等の受賞候補、技能功労者等受賞候補者の推薦を行う
3. 会員従業員の福利厚生面の充実を図るため、スポーツ大会や各種行事を行う
4. 他の部門に属さない事業の運営を図る

## 経営に関する事業

1. 公共工事の直接発注拡大促進を図る
2. 事業推進のため、諸官庁との「懇談会」の開催及び関係機関に対し建議陳情を行う
3. (一社)日本空調衛生工事業協会近畿支部会長会議及び近畿支部会を開催し、情報や意見交換を通じて連携を深める
4. 新技術、新商品説明会等を通じて、会員及び賛助会員との交流の促進を図る
5. 建設業団体との交流を通じて情報交換や協力関係を図る
6. 配管、ダクト、保温保冷の三団体との連携を図る
7. 青年部会により協会活動の活性化を図る
8. 青年部会による研修会を実施する
9. 社会貢献として募金活動及び清掃活動を実施する

## 広報に関する事業

1. 機関誌「大空衛」を年2回発行する
2. ホームページの更新・充実により、情報発信を強化する

## 技術に関する事業

1. 技術者の資質の向上を図るため関係団体と協力し、各種研修会を行う
2. 衛生設備や空調設備の調査・研究、技術ニュースを発行する
3. 登録配管基幹技能者講習、登録ダクト基幹技能者講習の運営に協力する
4. 技能者養成及び未来の技能者育成を目指し、配管工、高校生・専門学校生を対象に、第10回配管技能コンテストを実施する
5. 配管技能検定試験の実技試験運営事務を行う

## 労務に関する事業

1. 労働災害防止及び労働安全衛生の意識高揚を図り、災害ゼロの明るい職場づくりを進める安全衛生大会を開催し、無災害の優良工事現場の表彰を行う
2. 労働災害の防止を目的に、安全管理活動の促進を図るため安全パトロールを行う
3. 大阪配管高等職業訓練校への助成を行う
4. (一社)大阪電業協会と合同で新入社員研修会を行う

# 理事業務分担

平成30年5月  
(一社)大阪空気調和衛生工業協会

会 長	古 新 亮 英	ダイダン株式会社大阪本社
副 会 長 総務・経営担当	近 藤 徹	不二熱学工業株式会社
” 広報担当	城 口 俊 雄	株式会社大阪城口研究所
” 技術・労務担当	※福 原 保 豊	須賀工業株式会社大阪支社
<hr/>		
1. 総務委員会		
委 員 長	前 田 隆 司	株式会社前田商会
副委員長	平 田 順 一	東洋熱工業株式会社大阪支店
委 員	○瀬 尾 恵 勇	鳳工業株式会社
<hr/>		
2. 経営委員会		
委 員 長	北 村 広 外 志	ダイダン株式会社大阪本社
副委員長	○辻 武 寿	株式会社精 研
委 員	星 野 宏 一	株式会社テクノ菱和大阪支店
<hr/>		
3. 広報委員会		
委 員 長	木 村 之 彦	木村工業株式会社
副委員長	※中 村 淳 一	ダイクウ株式会社
委 員	○古 閑 一 誠	日比谷総合設備株式会社関西支店
<hr/>		
4. 技術委員会		
委 員 長	中 尾 弘 昭	株式会社朝日工業社大阪支社
副委員長	○後 藤 逸 文	三建設備工業株式会社大阪支店
委 員	○小 島 和 人	高砂熱学工業株式会社大阪支店
”	○小 松 良 行	新菱冷熱工業株式会社大阪支社
<hr/>		
5. 労務委員会		
委 員 長	若 林 尚 史	若林設備工業株式会社
副委員長	※福 地 文 雄	柳生設備株式会社
委 員	※白 木 博 之	三機工業株式会社関西支社
”	○田 中 幹 武	新日本空調株式会社大阪支店
<hr/>		
専務理事	林 壽 二	(一社)大阪空気調和衛生工業協会
監 事	○金 子 達 哉	株式会社三冷社西日本支社
”	東 琢	大阪ガス株式会社

(○新任役員 ※業務分担の変更)



## 平成30年度 専門委員の紹介

### 安全労務専門委員

○安全パトロール ○安全衛生大会の企画・運営	新原 辰美 (新日本空調(株)大阪支店)	辻 高司 (日比谷総合設備(株)関西支店)
	宮地 直人 (株朝日工業社大阪支社)	堤 英治 (須賀工業(株)大阪支社)
	稲岡 栄治 (三機工業(株)関西支社)	

### 技術専門委員

○空調部会・衛生部会に分かれ、技術ニュースを発行	(空調部会)	新子 敦弘 (ダイダン(株)大阪本社)	横田 和久 (三機工業(株)関西支社)
		佐々木 直樹 (株朝日工業社大阪支社)	鹿子島 修 (高砂熱学工業(株)大阪支店)
		岩見 康秀 (新菱冷熱工業(株)大阪支社)	
	(衛生部会)	杉田 英人 (須賀工業(株)大阪支社)	小倉 一浩 (大阪府立布施工科高等学校)
		森嶋 章浩 (株西原衛生工業所大阪本店)	新保 東輝彦 (株朝日工業社大阪支社)
		瀧口 佳典 (三機工業(株)関西支社)	原田 総一郎 (大阪工業技術専門学校)

### 広報専門委員

○ホームページ管理、 機関誌「大空衛」の発行	諸藤 亮 (株精研)
	村馬 弘考 (日比谷総合設備(株)関西支店)

### 経営専門委員

○経営委員会活動の サポート、府下市町村へ 直接発注の陳情等	長元 伸吾 (ダイダン(株)大阪本社)
	溝畑 貴也 (株精研)
	石原 真典 (株テクノ菱和(株)大阪支店)

## 平成30年度 青年部会の紹介

会員 23 名

会 長	中山 裕章 (不二熱学工業(株))
副 会 長	長元 伸吾 (ダイダン(株))
副 会 長	植田 篤史 (鳳工業(株))
総 務 委 員 会	委員長 川崎 和徳 (須賀工業(株)) 定時総会、安全衛生大会、新年交礼会の運営、 青年部会研修会 (会員・賛助会員・青年部会向け)
交 流 委 員 会	委員長 建部 浩文 (三機工業(株)) ポウリング大会、野球大会の運営、レクリエーション活動
福 祉 委 員 会	委員長 古川 潤 (株三晃空調) 募金活動・クリーンアップ作戦の実施

# 新入社員研修を実施

経営者、先輩から幅広い知識習得



当協会は、今年度も（一社）大阪電業協会と合同で新入社員研修会を開催しました。

講師は両協会所属会社の経営者や経験豊富な熟練社員、入社数年の社員が担当しました。講義内容は、社会人に求められる基本姿勢からビジネスマナー、営業の方法、安全知識、熟練社員の体験談まで幅広い分野に及び、研修会に参加された皆様は、諸先輩が語る明日から即実践できる講義に熱心に聞き入っていました。

業務ご多忙の中、講師としてご協力くださいました皆様に厚くお礼申し上げます。

開催日時 平成30年4月4日（水）5日（木）

両日のうち1日受講

9：00～：17：00

会場 電設健保センター

受講者数 152名（うち当協会12社・36名）

◇◇◇当協会からの講師（敬称略）◇◇◇◇◇◇

【経営者による講話】

（社会人としての基本ほか）

須賀工業㈱大阪支社

常務取締役支社長 福原 保豊

【3～5年目社員の講話】

新日本空調㈱大阪支店

設計部 小山 智久

【営業に関する講話】

三機工業㈱関西支社

営業2部営業課主任 建部 浩文

【工事熟練社員の講話】

柳生設備㈱

工事部課長 西 公治



## 平成30年度 新入社員研修会 プログラム

(電) : 大阪電業協会 担当

(空) : 大阪空気調和衛生工業協会 担当

No	項目	時間	講師	
			4日(水)	5日(木)
1	開講挨拶	9:00~	(電) ㈱クリハラント	(空) 協会専務理事
		9:15	嶋田 雅景	林 壽二
	スケジュール・受講上の注意事項		事務局	事務局
2	社会人が求められる意識と行動	9:15~	(電) 住友電設㈱	(電) 住友電設㈱
	・社会人への第一歩 ・会社生活とは	10:15	人事部主管	人事部主管
	・意欲的な仕事の進め方		秋田 好之	秋田 好之
	・人間関係とコミュニケーション			
3	ビジネスマナー	10:15~	(電) 住友電設㈱	(電) 住友電設㈱
	・身だしなみ・会社生活の一日・聞き方、話し方	11:00	人事部主管	人事部主管
	・敬語、言葉遣い・電話対応・報、連、相		秋田 好之	秋田 好之
	・訪問マナー ・弔事マナー			
4	経営者による講話	11:00~	(電) 浅海電気㈱	(空) 須賀工業㈱大阪支社
	・社会人としての心構え、建設業の魅力他	12:00	常務取締役 経営企画室長	常務取締役支社長
	・会社・技術力・人材他		松森 孝夫	福原 保豊
	昼 食	12:00~ 13:00		
5	3~5年目社員の講話	13:00~	(電) ㈱協和エクシオ関西支店	(空) 新日本空調㈱大阪支店
	・災害はどうして発生するのか?他	13:30	通信ビジネス本部 電気エンジニアリング部門	設計部
			辰巳 将大	小山 智久
6	営業に関する講話	13:30~	(電) 浅海電気㈱	(空) 三機工業㈱関西支社
	・建設業における営業職と一般的な営業職との違い	14:00	営業部係長	営業第2部営業課主任
	・普段の実務について		奥村 武央	建部 浩文
	・新入社員に期待する事			
7	安全に関する講話	14:00~	(電) ㈱クリハラント	(電) ㈱クリハラント
		14:45	安全管理部 安全管理グループ長	安全管理部 安全管理グループ長
			佐々木 浩一	佐々木 浩一
8	ビデオ鑑賞	14:45~	事務局	事務局
	・仕事・人生の夢を語ろう!武田鉄矢	15:15		
	新入社員に贈る言葉			
9	工事に関する熟練社員の体験談	15:15~	(電) ㈱中電工大阪本部	(空) 柳生設備㈱
	・現場代理人とは	16:00	屋内電気工事課第1係長	工事部課長
	・現場体験談		菅本 哲也	西 公治
	・仕事を通しての人生の出会い			
10	報告書の作成	16:00~	事務局	事務局
		17:00		
		7時間		

日空衛 創立80周年記念・第70回定時総会を開催

## 「低炭素社会づくり」先導役の努め果たす

### 「働き方改革」に全力で取り組む

日本空調衛生工事業協会（日空衛、会長長谷川勉氏）は5月23日、東京都千代田区の帝国ホテルで創立80周年記念・第70回定時総会を開催し、「働き方改革」を積極的に推進していくことを申し合わせるるとともに、平成30年度業界実践スローガンを決議し、これに沿って活発に協会事業を展開していくことを確認した。

総会の冒頭挨拶で長谷川会長は、国土交通省が制度を整備しつつある『建設キャリアアップシステム』について触れ、「この秋には現場における運用が開始される予定となっており、日空衛では説明会などを通じて引き続き周知普及に努めてい

く」と述べた。また、政府主導で進められている『働き方改革』については、「建設業についても労働基準法の改正法の施行後5年間の猶予期間を設けた上で時間外労働の罰則付き上限規制を適用することとされている。キャリアアップシステムとともに、中長期的な担い手確保には欠かせない方向性だ。今年3月に日空衛が策定した働き方改革の推進に関する行動計画にそって関係機関・関係団体と連携し積極的に取り組んでいく」と決意を示した。

平成29年度事業報告・決算報告に続いて、平成30年度の事業計画・予算を決定した。今年度は、『働



挨拶する長谷川会長





議事に先立ち開かれた講演



全国から役員が参集

き方改革』実現に向け、適正な工期設定や適切な賃金水準の確保、週休2日の推進などに取り組むため、民間も含めた発注者へ理解と協力を訴えて労働環境整備を進めていくこととした。

また、中期ビジョン『日空衛2015』を基本に据え、行政との意見交換や要望活動を実施するとともに、友好団体との連携に努めながら①低炭素社会づくりの先導役を果たす②コンプライアンスの徹底③長時間労働の是正④業界PRビデオやパンフレット、技能者ビデオを活用した人材の確保・育成⑤直接（分離）発注の推進⑥配管、ダクトなどの登録基幹技能者制度の定着と活用⑦生産性の向上⑧大自然災害発生時の業界挙げての復旧・復興——に取り組んでいくこととした。

このあと、平成30年度業界実践スローガンを原案どおり決議した。実践スローガンは昨年度とほぼ同様の内容だが、前回は2項目目であった「低炭素社会づくり」を第1項目に引き上げて業界の社会的責任を前面に押し出した。また、「人材の確保・育成の項には『働き方改革』の文言を最初に入れたほか、「直接発注」の項には『有効性』

の文言を入れて、その有効性を強くアピールしていく姿勢を示した。

役員選任議題では、地区団体の代表者交代などにより、一部役員が退任・新任となった。

議事終了後、第63回業界功労者表彰式が行われ、協会役員功労者として森井省三、大原萬彌の両氏、協会委員功労者として阿部正樹、中之園秀樹、西岡健一、前田徹、森敬次郎の5氏がそれぞれ表彰された。

なお、総会に先立ち、国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課の出口陽一課長による「建設産業の現状と課題」と題した講演会が開催され、出口氏は昨今の建設業の動向を交え、建設キャリアアップシステムの進捗状況などを説明した。

総会のあと、創立80周年記念と銘打った懇親会を開催し、冒頭で長谷川会長が改めて挨拶を行い、低炭素社会づくりへの貢献、人材の確保・育成、適正価格・工期での受注など最重要課題として取り組んでいく決意を示した。来賓挨拶に続いて乾杯し、80周年の節目を祝うとともに、今後の躍進を誓い合った。

## —— 平成30年度業界実践スローガン ——

われわれ空調衛生工事業は、快適空間の創出と地球環境の保全を担う産業としての誇りを持ち、優れた技術と品質の確保及び「顧客満足度の向上」を最大の目的として、市場環境変化に対応する経営改革に取り組むとともに、空調衛生工事業界のプレゼンスを高めるため、一致団結して次のスローガンの実践にあたろう。

- 1 省エネルギー及び省CO<sub>2</sub> に積極的に取り組み、低炭素社会づくりを通じて地球環境の保全を推進しよう
- 2 法令の遵守と企業の社会的責任を果たす事業運営を徹底しよう
- 3 「働き方改革」に正面から取り組み、未来を担う技術者・技能者の確保・育成に努めよう
- 4 生産性の向上を推進し、品質・安全と適正な施工体制の確保に努めよう
- 5 空調衛生設備の重要性と「直接発注（分離発注）」の有効性を強くアピールし、「機械設備一式工事」または「空調衛生工事」の実現を目指そう



業界功労者を表彰



懇親会で情報交換

# 日空衛 働き方改革の 推進に関する 行動計画(要旨抜粋)



## 日空衛として目指す目標

### 1. 長時間労働の是正

日空衛として生産性向上や効率化などを進めながら2019年4月から施行される予定の時間外労働の上限規制に係る改正労働基準法の規定を踏まえ、同規定が建設業に適用される予定の2024年4月までに段階的に時間外労働を減らしていく自主目標を以下のとおり設ける。

#### (1) 改正労働基準法が成立し、施行されるまでの期間 (2018年4月～2019年3月)

- ・法施行までの準備期間のため、各会員企業の自主的な取り組みに委ねるが、この期間内に月100時間未満となるよう努める。

#### (2) 改正法施行後1年目から3年目

(2019年4月～2022年3月)

- ・年間960時間以内(月平均80時間)とする。
- ・6カ月平均で休日労働を含んで80時間以内とする。
- ・休日労働を含んで単月100時間未満とする。



#### (3) 改正法施行後4年目から5年目

(2022年4月～2024年3月)

- ・年間840時間以内(月平均70時間)とする。
- ・4、5、6カ月それぞれの平均で、休日労働を含んで80時間以内とする。
- ・休日労働を含んで単月100時間未満とする。

#### (4) 改正法施行後6年目以降(2024年4月以降)

[改正法の規定が建設業に適用]

- ・時間外労働の上限規制の原則は、月45時間以内、年360時間以内。
- ・臨時的な特別の事情がある場合には、
  - ◇年720時間以内(月平均60時間)。
  - ◇2、3、4、5、6カ月それぞれの平均で、休日労働を含んで80時間以内。
  - ◇休日労働を含んで単月100時間未満。
  - ◇特例の適用は、年半分を超えないよう、年6回まで。

### 2. 週休2日の推進

日空衛会員企業は、本社・支店などすべての工事現場を対象として週休2日を推進することとし、工事現場については以下のとおり対応することを通じて、2022年度末までの概ね5年間で週休2日を定着させることを目標とする。

また、2020年度末までに、隔週で2日が閉所となる4週6閉所以上を中間目標とする。





- (1) 改修工事などで主体となる設備工事を元請工事として受注し、工事全体を運営する場合には、週休2日を以下により行うことを目指す。

○計画段階からコスト・工期などについて週休2日を前提とするなどにより週2日の閉所を目指す。

○週休2日は、土日閉所を原則とするが、これによりがたい場合は、土日にこだわらず、週2日工事現場の閉所を行うこととする。

○災害復旧その他特別の事情があり、週休2日の導入が困難な場合は対象外とする。

- (2) 下請工事の場合及び元請工事でも新築工事などの主体となる建築工事がある場合には、元請または主体となる建築工事業者と週休2日推進について協議し、その結果に基づいた対応とする。

- (3) 日空衛として、独自のパンフレットを作成して、公的発注機関や民間発注者団体への協力要請を行うとともに、会員企業は、受注に際してパンフレットを配布・活用するなどにより発注者の理解を求める。

### 3. 生産性の向上

- (1) 技術者のスキルアップ

生産性の向上に資するため、工程・品質・安全・資材管理などの施工管理及び設計施工図などの作成や原価管理などの研修の充実により、技術者のスキルアップを図る。

- (2) ICT、IoTなどの推進

フロントローディングやBIMの活用により、設計図や施工図の精度向上に努め、より効率的な機器配置や搬出入経路の検討により、生産からメンテナンスまでの様々な精度向上に努めていく。また、ICT、IoT機器の導入や技術開発に努め、施工における省力化や生産効率の向上を進めていく。

- (3) 工事関係書類の簡素化

工事契約から竣工に至るまでの各種書類において、同様の報告書類はできる限り兼用できるように見直しを行い、簡素化に努める。特に工事中の報告関係（施工報告・工事旬報・施工写真など）や各種計画関係（施工計画・品質計画・安全計画など）をまとめて簡素化に努める。



### 4. 多様な人材の活躍推進

長時間労働の是正や週休2日の実現に向けて、多様な人材の活躍推進が必要不可欠となっている。このため、「日空衛人材ビジョン」（平成28年5月）に掲げられた各課題や対応を参考にし、以下の項目について取り組みを行っていく。

- ・若年層技術者の確保・育成
- ・女性技術者の活躍推進
- ・高齢者の活躍推進
- ・技能者の確保・育成
- ・外国人材の受け入れ

## 日空衛 近畿支部会を開催

### 担い手の確保など日空衛の取り組み確認

日本空調衛生工事業協会(日空衛)の近畿支部(古新亮英支部長)は2月20日、大阪府中央区のシティプラザ大阪で平成29年度近畿支部会を開催し、最近の日空衛の活動などを確認した。

支部会には本部から中島義勝専務理事をふくめ、団体・企業会員ら44名が出席、開会挨拶で古新近畿支部長は、去年の支部活動を振り返り、「近畿支部会長会議などで建設業における最重要課題である中長期的な担い手の確保・育成の取り組みの一環として設備業界への入職促進を図るための施策を検討する一方、会員の皆様に対しては県内の工業高校からインターン生を受け入れていただくとともに、関係方面に向けて日空衛のパンフレ

ットやDVDの活用により、業界の魅力を発信してきた」と述べた。さらに、古新支部長は「下請企業の社会保険未加入問題、週休2日実現への適正な工期の設定について意見・情報交換を図りたい。工期終盤に集中する設備工事への対応については国土交通省近畿整備局営繕部より、『設備の総合試運転調整に必要な期間を考慮し適切な〈概成工期〉の設定を行うこととしている』との取り組みを示していただいている。今後とも営繕部との積極的な意見交換により、支部活動を活性化していきたい」と述べた。

引き続き、日空衛・中島専務理事が「最近の日空衛の活動について」と題して取り組みなどを紹

平成29年度  
生工業協



挨拶する古新支部長



## 日空衛 衛生工事業協



日空衛の活動を報告する  
中島専務理事



懇親会を催して情報・意見交換

介し、質疑応答が行われた。

このあと、来賓として国土交通省近畿地方整備局営繕部設備技術対策官・清水克紀様をお迎えし、さらに企業会員も加わり、懇親会に移った。懇親

会では来賓の清水様から期待と激励を込めた挨拶をいただき、日空衛・長谷川会長の発声で乾杯し、支部活動について忘たんのない意見を交換し合い親睦を図った。

## 青年部会 日本赤十字社に10万円寄付



募金を手渡す北村理事(左)

協会青年部会(中山裕章会長)は、協会行事や部会活動を通じて募った10万円を日本赤十字社に寄付した。

この日本赤十字への募金活動は「何らかの活動を通じて社会に貢献したい」という青年部会の発案で行われているもので、今回で9度目。

3月12日、中山会長ら青年部会役員3名と当協会経営委員長の北村広外志理事が大阪市中央区の日本赤十字社大阪府支部を訪れ、服部道代事務局長に中山会長が「東日本大震災から7年が経った

が決して忘れてはいけない。青年部の募金活動も来年で10年となるが継続して続けていきたい。日赤さんの協力でAEDを使った救急法などの講習会も開催したが、実際に使ってみないと分からないことが多く大変勉強になった。今後も事業の中に子どもを事故から守る安全講習や緊急時の手当などを取り入れ、防災・減災の意識向上に努めていきたい」と述べたあと、北村理事から服部事務局長に募金を手渡された。



日赤担当者(右2人)と懇談する北村理事(その左)、青年部会員

## 憲法施行記念式並びに表彰式

### 当協会から安原和利氏が受賞

善行者と産業・福祉衛生・教育など各界功労者・団体を表彰する「憲法施行記念式並びに表彰式」が5月7日、大阪市北区の大阪国際会議場（グランキューブ大阪）で行われました。

松井一郎大阪府知事の式辞と日本国憲法前文の朗読、来賓祝辞に続き表彰式が行われ、17の団体と個人384名が表彰されました。当協会からは産業功労者・建設関係の部で安原和利理事（＝当時、精研相談役）が表彰されました。



大阪府知事表彰を受賞した安原氏



憲法施行記念式並びに表彰式

## 「優秀建設施工者」大阪府知事表彰

### 協会推薦の森山氏、前田氏が受賞

大阪府の平成29年度「優秀建設施工者」表彰式が2月8日に大阪府庁で行われ、27名（熟練工部門17名・青年部門10名）が表彰され、当協会推薦の2人が知事表彰を受けました。

同表彰は、平成6年度から行われているもので、当協会、大阪建設業協会などの建設関連団体が配管工、ダクト工、鉄筋工、左官工、大工、電気工など各職種の優秀施工者を推薦し、大阪府が表彰しているものです。式典では、大阪府知事表彰実行委員長の北浦年一氏が挨拶し、優れた技能を持つ模範の施工者としての受賞を祝い、建設業界のリーダーとして今後一層の活躍に期待を寄せました。

当協会から推薦した関西配管工事業協同組合所属企業の株ツカサ社員・森山道盛氏が熟練工部門で、同社の前田大輝（ひろき）氏が青年部門でそれぞれ大阪府知事表彰を受賞しました。

式典では、表彰実行委員会代表の挨拶に続き、竹内廣行大阪府副知事が挨拶し、竹内副知事から受賞者27名に表彰状・記念品が授与されました。



表彰式のもよう



竹内副知事を中心に森山氏(左)と前田氏(右)

## 第27回／4団体協議会を開催

### 「社保問題」「働き方改革」で意見・情報交換

当協会と関西配管工事業協同組合、近畿ダクト工事業協同組合、近畿保温保冷工業協会で構成する4団体協議会の第27回会合が3月26日に当協会事務局のある新トヤマビル3階会議室で開かれ、主要議題として建設業界の「社会保険未加入問題」「働き方改革」などで意見・情報を交換しました。

会合には9名が出席。「社会保険の加入推進」について事務局（当協会）から関連資料が説明されたあと、意見が交わされました。この中では「国土交通省が作成した働き方チェックシートは『雇用』か『請負』かの判断の参考になるように作成したものだが、どのように活用するのかよく分か

らない」などの声が出されました。

また、消費税の問題にからめて「一人親方に対して請負契約になるので消費税を支払わざるを得ない」「一人親方を労働者とする場合は所得税を5年程度さかのぼって支払う必要があるのではないか。その場合、日報がないケースが多いので所得税をどう設定するかという問題がある」「まず、設備工事や電気工事に社会保険への加入状況調査が入るのでは」「スーパーゼネコンで、現場への未加入労働者の排除を1年延長しているところがある」といった意見が出されました。

社会保険加入率の推移については「資料では企



業別で96%加入となっているが、労働者別では76%と開きがある。残りの24%の実態はどうなっているのか。新入社員でも2か月も払っていないケースがある。「会社によっては、社長夫婦だけ加入していれば会社として加入していることになる場合がある。そのような会社では、他の職人は加入について野放しも多いのでは」「配管業者は現場の規定が厳しいなら、仕事が山ほどあるので他にあたるというケースもある」という状況が示されました。

「働き方改革」議題に関連して建設キャリアシステムについて事務局からの説明のあと、「講習会に参加したが、登録してカードを作り、実績や資格により評価が上がっていくと、どうして給料が上がっていくのかわからない。補助金が出るのか」「一から資格を持てるように育て上げるのにコストがこれだけかかったと官庁などに訴えていくという説明だが、因果関係をふくめて理解できない」「なぜ、お金払ってまでカードを作らないといけないのか。目的がはっきりしない」「個人のカードではなく、管理側のシステムとして捉えられても仕方ない」「建設工事業の施工に従事するものであれば、以前から話していた登録基幹技能者の常駐義務の

ほうが効率もいい」「グリーンサイトのようなデータを打ち込んでいかないといけないのか」「最近、グリーンサイトから情報が洩れていないか気になる。会社に個人で電話がかかってくる。キャリアアップシステムによってデータを整理するとヘッドハンティングや引き抜きに材料になるのではと懸念する」「社会保険加入状況がカードで記録されているので、かざした瞬間に現場のゲートが開かないこともあるかもしれない」「下請次数が制限されているので、ある現場で4次下請が排除された。その結果、職人が逃げてしまった。せめて4次までの重層下請を認めてほしい」といった疑問・不安の声や要望意見が多く出されました。

このほか、事務局から平成30年3月から適用の設計労務単価及び登録基幹技能者の主任技術者の要件への認定について資料に基づいて説明があり、また、平成29年度優秀建設施工者大阪府知事表彰式典の開催報告と合わせて、平成30年度は近畿ダクト組合よりダクト工を2名程度、推薦してほしいとの要請がありました。また、平成30年度建築土木技能フェアの開催時期は11月末になる見込みであると報告されました。

# 告知板

## ○賛助会員募集のご案内

地球温暖化対策が求められる中、空調衛生設備へのニーズは変化・拡大しております。特に「環境問題」という新たな分野への取り組みは当協会と各メーカー、代理店の皆様と連携した研究開発が重要となってまいります。このような状況を踏まえ当協会では賛助会員の募集を行っております。

賛助会員にご入会されますと、当協会において技術開発、製品開発の発表の場が持てるとともに、新年交礼会や総会後の懇親会などの交流の場にご参加いただけます。多くのメーカー、代理店各位のご入会をお待ちしております。

賛助会費 1社月額 4,000円

会費納入 入会年度の会費は入会月から翌年3月末までの期間分を入会時に納入(4,000円×3月までの月数)。

以後は年額(48,000円)を上半期と下半期に分け、上半期は6月末、下半期は12月末に納入。

入会手続 協会事務局までご連絡ください。入会申込書を送付いたします。

## ○今後の行事予定

開催日	行 事	場 所
9月8日	第10回配管技能コンテスト	大阪府立東大阪高等職業技術専門校
9月11日	青年部会研修会	建設交流館
10月4日	安全衛生大会	建設交流館
10月16～18日	野球大会	舞洲運動広場
11月14日	大空会ゴルフ大会	飛鳥カンツリー倶楽部
11月28日	ボウリング大会	桜橋ボウル
31年1月11日	新年交礼会	スイスホテル南海大阪
31年2月21日	(一社)日本空調衛生工事業協会近畿支部会	シティプラザ大阪

## 「うめきた」2期 事業者決定 — 開発最終段階へ —

### ホテル・オフィス・商業施設・住宅が緑と融合した都市空間

「関西最後の一等地」再開発といわれてきたJR大阪駅北側の再開発地域「うめきた」2期の民間開発事業者にこのほど三菱地所株を代表者とするグループが決定したとUR都市機構（都市再生機構）などが発表した。昨年12月から事業者を募集していたもので、7月12日、三菱地

所株やオリックス不動産株、積水ハウス株、株竹中工務店などの企業連合に決まった。ホテル、商業施設、住宅などの建設をめざして2020年10月以降に着工する。1期「グランフロント大阪」（13年開業）に続いて「うめきた」開発はいよいよ最終段階を迎える。



完成予想図（手前左から右へ北街区、中央の「みどりの森」、南街区。左手前の向こうはグランフロント大阪）

#### 事業概要とスケジュール（予定）

開発は三つのゾーンに分けて進められる。北街区の約1.6畝は中核となる高層ビルが建設され、新産業創出拠点、ホテル、住宅、商業施設などが入る。南街区の約3畝にはオフィスのほか、国際会議などが行える施設が建設される。北側と南側の中央部分には都市公園が設備される。1万人規模のイベントができる広場、自然と親しむ「うめきたの森」が設けられる。建設される主要施設はグランフロント大阪やJR大阪駅とデッキで接続される予定。

土地引渡しは2020（平成32年）年9月以降順次。民間宅地工事着工は20年10月以降順次。地区概成（民間宅地施設一部開業、都市公園一部開園）は2024年（平成36年）年夏頃を予定している。

#### 開発事業者のグループに参画する事業者

##### 【土地譲受事業者】

〈代表者〉三菱地所株

大阪ガス都市開発株 オリックス不動産株

関電不動産開発株 積水ハウス株

株竹中工務店 阪急電鉄株

三菱地所レジデンス株

うめきた開発特定目的会社

##### 【設計・運営事業者】

株三菱地所設計 株日建設計

有SANA A事務所

Gustafson Guthrie Nichol Ltd.

株日比谷アメニス 阪急阪神不動産株





北街区（左部分、向こうはグランフロント大阪）



南街区（右部分、正面はJR大阪駅）

## 開発事業者の事業企画提案の概要

（要旨抜粋）

### ◇コンセプト◇

- 希望の杜—Osaka “MIDORI” LIFE2070 の創造—
- ・「みどり」と融合した生命力と活力あふれる都市空間
  - ・ひらめきや創造につながる多様で寛容な場づくり
  - ・新たな価値がうめきたから関西へ、国内外へと拡がるマネジメント

### ◇都市空間◇

#### ○土地利用計画・機能配置

- ・先行開発区域と強固に連動し、都市公園の周辺波及を最大化する土地利用ゾーニング
- ・南街区は国際交流、北街区は新産業創出の拠点としてバランスの取れた都市機能を配置

#### ○まちのシンボル空間

- ・賑わい軸は、公園と一体的にデザインし、カフェ・ショップなどにより、歩道を積極的に活用する広場として計画

街区	北街区	南街区
敷地面積	15,726㎡	30,429㎡
建築面積	9,700㎡	20,900㎡
建蔽率	62%	69%
延床面積	146,900㎡	374,660㎡
容積対象	110,000㎡	319,410㎡
容積率	700%	1050%
施設構成	ホテル、イノベーション施設、プラットフォーム施設、オフィス、商業施設、分譲住宅、駐車場	オフィス、ホテル、商業施設、都市型スパ、MICE施設、イノベーション施設、分譲住宅、駐車場
構造・規模	S造（一部RC、SRC造） 地上28階地下2階・高さ150m RC造（一部S造） 地上47階地下2階・高さ176m	S造（一部RC、SRC造） 地上39階地下3階・高さ182m RC造（一部S造） 地上51階地下2階・高さ185m

- ・シンボル軸は、3列のイチョウ並木が先行開発区域と呼応する風格ある街の骨格を形成
  - ・西口広場は、シンボリックな大屋根がゲート性を演出し、イチョウ並木に包まれた駅施設を提案
- 歩行者空間・ネットワーク
- ・大阪駅やグランフロント大阪とスムーズに繋がる公園内立体通路を整備し、うめきた地区全体の回遊性を向上
  - ・西口広場は、地下・地上・2階デッキの多層ネットワークを計画し大阪駅や新駅とうめきた2期地区とのネットワークを強化

#### ◇環境・防災◇

##### ○環境負荷低減

- ・自然の恵みを生かした高効率システムによりCO<sub>2</sub>削減
- ・未来に繋ぐ最先端技術（帯水層蓄熱、下水熱・地中熱利用など）を導入し、環境負荷を低減

##### ○災害対応

- ・うめきた2期地区全体で有効避難面積 59,630 m<sup>2</sup>を計画
- ・災害時、MMO・開発事業者が一体となり都市公園・民間宅地を包括的に対応
- ・BCPへの対応（自立分散型電源の導入、区域全体へのエネルギー供給）

## ====大阪市====

### 地下水空調の省エネ性能実証

### 「うめきた」2期で実用化めざす

大阪市は、地下水を冷暖房に活用する技術の実証実験で十分な省エネ効果を昨年末に確認し、実用化を模索している。JR大阪駅北側の再開発地区「うめきた」2期の現場で行った実証実験で、一般的な空調と比べて35%以上の省エネ効果を確認したものの。

地下水のくみ上げは地盤沈下につながるため法規制されているが、地下水を同じ地層に戻せば沈下を抑えることができるため、国などへ規制緩和を求めている。

大阪市内は地下水が豊富にある。地下水の温度は年間通じて約18度とほぼ一定で、夏は外気温より低く、冬は高い。同市では3年ほど前から関西電力や市立大などと協力し、地下水で空調用の

水を冷やしたり温めたりする技術の開発を環境省の委託事業として取り組んできた。

「うめきた」2期開発地域で直径60センチ、深さ60センチの井戸を2本掘って地下水を汲み上げ、空調用の熱交換装置（水熱源ヒートポンプ）に水を循環させ、地下に戻すという方法で実証実験を行ったところ、1時間に100トンの地下水で延べ床面積1万平方メートルのビルの空調について一般的なガスを使った空調に比べ、使用熱量を35%以上削減できることを確認したという。地下水の採取が関連法で規制されているが、これの規制緩和を国などに働きかけ、実用化のめどが立てば「うめきた」2期開発でも冷暖房への地下水活用を推進したいとしている。

## 「サイホン排水システム」

### 大規模マンションに採用 普及に拍車かかるか

集合住宅でキッチンなど水回り設備の配置を各住戸で変えられる「サイホン排水システム」が採用された大規模マンションが東京都武蔵野市で建設され、同システムの普及につながるか注目されている。

「サイホン排水システム」（スマートサイホン）は野村不動産とブリヂストン、長谷工コーポレーションが共同開発したもので、昨年5月には第15回建築・設備デザイン賞において「最優秀賞」を受賞、今回、武蔵野市に建設された334戸の大規模マンションに採用された。各住戸の水回り設備に接続している排水管と、各階を縦貫する排水立て管を一つ下の階で合流させ、水が落ちることで発生する引く力（サイホン力）を発生させて水を流す仕組み。水流が強いため、水回り設備を排水立て管から離れた場所にも配置でき、ライフスタイルの変化に合わせた自由な間取りのマンションが建設できる。

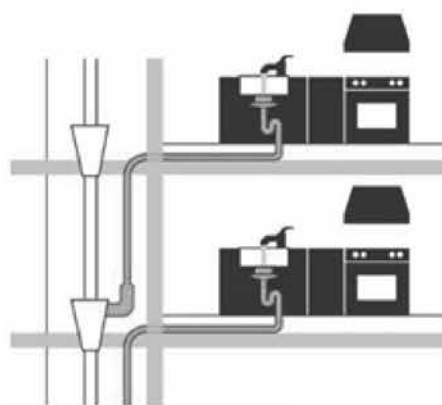
「サイホン排水システム」は10年以上前から研究がすすめられ、2015年に実用化のめどがたったとして前述の3社が発表していた。当初はキッチンディスポーザーで実用化し、研究を重ねて大規模マンションへの実用化を果たしたものの。今後は技術検証のスピードも早まり、普及が期待される。

#### 【従来の排水システムとの違い】

従来の重力式排水は、排水管に勾配をつけることで水流を発生させているため、勾配を確保するためには排水立て管から水回り設備の距離を大きくとれないといった制限があった（勾配依存）。

「サイホン排水システム」では一つ下の階に水

「サイホン排水システム」概念図



住戸の外へ排水立て管を移動できる。距離の制約が軽減され、キッチンのレイアウトの自由度が向上する。

が落ちることで引く力を発生させ、強い水流をおこすことで排水性が向上するため、排水立て管からの距離の制限が軽減される。これを利用して、排水立て管を建物の共用部に設置することも可能となり、住戸に立ち入ることなく配管洗浄などのメンテナンス作業が可能になる。さらに、排水立て管の更新工事が容易になるため、維持管理の作業性向上が図れる。

また、従来の排水システムは、勾配依存の非満流排水であるために管内の側面に固形物が付着しやすく、詰まりの要因となっているが、「サイホン排水システム」では強い水流と満水での排水による自掃能力で排水管の詰まりが軽減される。従来排水管より小口径の管を利用しており、かつ排水管の無勾配化を図れるため、省資源、床下スペースの縮小などのメリットが期待できる。

一方、居住者のメリットもある。室内リフォーム時にキッチンやユニットバスなどの水回り設備のレイアウトの自由度が向上し、排水立て管のメンテナンス・更新性の向上（専有部でのメンテナンス・更新作業が不要）が図れる。

## 18年度建設投資 昨年度水準を維持

2018年度の建設投資額は17年度（見通し）比0.1%増加するという予測を建設経済研究所が出している。昨年秋に出した見通し（前年度比3.2%減）を上方修正した今年初めの見通し（同横ばい）と同じで、17年度水準を維持するとみている。

同研究所の調査によると、18年度の建設投資額は、民間住宅投資が微増するものの、同非住宅投資が微減、政府建設投資もほぼ横ばいとなり、全体で前年度比0.1%増の53兆8600億円と予測している。

18年度の「政府投資」は0.1%増の21兆8000億円と予測。17年度（前年度比3.3%増見通し）から後退する。「民間住宅投資」は、0.3%増の15兆9000億円を予測。住宅着工戸数は前年度比1.3%増の96万5000戸を見通している。「民間非住宅投資」は0.2%減の16兆1600億円と予測。「建築」投資、「土木」投資とも概ね横ばい推移。

## 超高層マンション 建設増加基調

全国で建設・計画されている超高層マンション（20階建て以上）は約10.9万戸あることが不動産経済研究所の調べでわかった。

同社によると、2018年以降に完成を予定している超高層マンション（18年3月末現在）は294棟、10万8757戸で、1年前の前回調査（17年3月末時点）に比べ54棟・1万6471戸増加した。完成予定は18年50棟・1万2104戸、19年68棟・1万9115戸、20年59棟・2万848戸、21年26棟・8652戸、22年以降91棟・4万8038戸。

近畿圏は47棟・1万3811戸で、前回調査時に比べ13棟・3238戸増加した。近畿圏のシェアは13%で、うち大阪市内は30棟・8737戸（シェア



近畿圏の超高層マンション完成(予定)計画棟数・戸数

	棟数	戸数
2018年	12	2,741
2019年	18	5,239
2020年	5	1,032
2021年	4	1,133
2022年以降	8	3,666
2018年以降計	47	13,811

8%)、大阪府下は9棟・2924戸。

首都圏は181棟・8万303戸で、全国に占めるシェアは74%。前回調査時より19棟・7784戸の増加となり、増勢基調を強めている。

超高層マンションは、2008年のリーマンショック以降のマンション供給計画が縮小する中、企画から販売終了まで時間がかかり、経済変動に対応しにくいところから09年の約3万5600戸は翌10年に約1万8000戸へと一挙にダウン。その後、東日本大震災の影響などもあって減少傾向にあったが、12年には増加に転じ、以降、増減を繰り返している。

## 上半期 近畿圏のマンション発売堅調

不動産経済研究所がこのほどまとめた2018年上半期（1～6月）の近畿圏の「マンション市場動向」によると、発売戸数は前年同期比3.1%増の9087戸であった。主要部の大阪市部が13.1%減の3861戸と低迷し、兵庫県下（7.4%減の630戸）、京都市部（35.4%減の485戸）、京都府下（57.0%減の64戸）、和歌山県（77.3%減の22戸）は低調だったが、大阪府下（21.8%増の2092戸）、神戸市部（121.8%増の1568戸）、奈良県（16.9%増の152戸）、滋賀県（53.2%増の213戸）は好調に推移した。

1～6月の平均月間契約率は前年同期比2.8%ダウンの74.1%だった。1戸あたりの平均価格は1.5%上昇の3763万円であった。

## 昨年度設備工事受注 やや回復 2.7%増

国土交通省がこのほどまとめた2017年度の設備工事3業種（電気・管・計装工事の各主要20社）の受注額は、前年度比2.7%増と2年ぶりに回復した。「管工事」は8年連続の増加となり、「計装工事」も増加に転じた。

設備工事3業種の各主要20社の受注総額は、11年度に長年の低迷に終止符を打ち、12年度、13年度と連続増加したあと、14年度は微減に後退、15年度はやや盛り返し、16年度は微減したが、17年度は2.7%増の3兆1911億円と2年ぶりに増加した。官・民別にみると、官公庁工事は11.7%減の3167億円と低迷した。一方、民間工事は4.6%増の2兆8744億円と堅調に推移した。

「管工事」は5.2%増の1兆4287億円で8年連続

の増加、ビル・工場などの各種設備の制御機能を支える「計装工事」は7.7%増の3572億円と16年度の前年度比減少から増加に転じた。また、主に施設構内の電気設備を設置する「電気工事」は0.3%増の1兆5517億円で、こちらも16年度の前年度比減少から増加に転じた。

## 近畿圏の製造業工場立地 高水準

経済産業省がまとめた近畿圏の2017年（1～12月）の「製造業等」（電気業を除く製造業、ガス業、熱供給業）の工場立地件数は171件で、前年比6.2%の増加となった。府県別では和歌山県（14件）、大阪府（20件）、兵庫県（63件）、奈良県（34件）は前年より増加し、京都府（13件）、福井県（12件）、滋賀県（15件）は前年より減少した。

ブロック別では近畿臨海が20件増の96件、近畿内陸が6件減の62件。一方、近畿全体の面積は149.6haで、前年比19.4%の減少となった。

## 昨年度建築物リフォーム低迷

国土交通省がまとめた2017年度の建築物リフォーム・リニューアル工事受注額は、前年度比20.6%減の12兆4873億円と15、16年度の2年連続増から減少に転じた。「住宅」分野（31.4%減）、「非住宅」分野（14.6%減）とも振るわなかった。

工事部位別の受注件数（複数回答）では、「住宅」は「給水給湯排水衛生器具設備」（約128万件）、「内装」（約96万件）、「建具」（約61万件）の順。「非住宅」は「電気設備」（約39万件）、「内装」（約37万件）、「空気調和換気設備」（約28万件）の順。



給排水衛生設備に関する実務教育講座

開催日時 2018年10月17日(水) 9:30～16:30

プログラム 9:30～11:30 給水設備、給湯設備  
12:20～14:20 排水設備、排水処理設備  
14:30～16:30 衛生器具設備、消火設備、その他

会場 エル・おおさか(大阪府立労働センター)  
〒540-0031 大阪府中央区北浜東3-14  
(地下鉄谷町線・京阪電鉄「天満橋」駅から西へ300m)

空気調和設備に関する実務教育講座

開催日時 2018年11月7日(水) 9:30～16:30

プログラム 9:30～11:30 空気線図、熱負荷、空調システム、省エネ  
12:20～14:20 熱源、空調機器、個別分散システム  
14:30～15:30 配管、ダクト、換気、排煙、防音防振  
15:30～16:30 自動制御

会場 エル・おおさか(大阪府立労働センター)  
〒540-0031 大阪府中央区北浜東3-14  
(地下鉄谷町線・京阪電鉄「天満橋」駅から西へ300m)

定員 各講座90名(定員に達し次第締め切ります)

受講料(テキスト共) 会員(協賛団体含む) 5,000円

非会員 8,000円

振込先 三井住友銀行 梅田支店 (普) No.1707320

(一社) 建築設備技術者協会 近畿支部

申込方法 氏名、年齢、会員区分、(会員、非会員の別)、勤務先名、所属部署、電話番号、FAX番号、職種(設計・積算・施工管理・工事・行政・ビル管理・製造・営業・その他)を記入の上、E-mailにてお申込み下さい。

申込先 〒559-0034 大阪府住之江区南港北2-1-10 ATC/ITM棟11F

TEL: 06-6612-8858 FAX: 06-6616-7098

E-mail: info@jabmee-kinki.com

(一社) 建築設備技術者協会 近畿支部

2018年

# 暑中お見舞い申し上げます



一般社団法人 大阪空気調和衛生工業協会会員 (80社)

会社名	代表者氏名	会社名	代表者氏名
赤井設備工業(株)	上田 訓司	敷島煖房工業(株)	土橋 誠二
(株)朝日工業社大阪支社	中尾 弘昭	四國機械設備(株)	曾我 幸二
(株)上杉工業	林 一也	島設備工業(株)	井上 暎夫
浦安工業(株)大阪支店	八里 増樹	主計管工(株)	中井 主蔵
(株)江坂設備工業	中村 昭一	城陽ダイキン空調(株)	澄川 秀幸
エルゴテック(株)西日本支店	吉山 高信	(株)城口研究所関西支店	前田 史郎
オーディーエー(株)	織田 守彦	新日本空調(株)大阪支店	田中 幹武
(株)大阪城口研究所	城口 俊雄	新菱冷熱工業(株)大阪支社	小松 良行
鳳工業(株)	齊藤 久克	須賀工業(株)大阪支社	福原 保豊
奥田商工(株)	奥田 孝子	(株)精研	上野 俊信
影近設備工業(株)大阪支店	東野 大輔	第一工業(株)大阪支店	高木 信幸
川崎設備工業(株)西部支社	小島 泰進	第一設備工業(株)大阪支店	中村 秀樹
川惣電機工業(株)	昆沙賀正道	大貴設備(株)	田窪大五郎
川本工業(株)大阪支店	柴尾慎一郎	ダイクウ(株)	中村 淳一
木村工業(株)	木村 之彦	大晃設備(株)	樋上 雅一
協伸工業(株)	森岡 由智	大成温調(株)大阪支店	喜田 孝宏
(株)共進社工業所	山内 昇平	大成設備(株)近畿支店	木本 一義
享和設備(株)	竹本 和正	ダイダン(株)大阪本社	古新 亮英
クウケン(株)	森本 省三	大熱工業(株)	藪本 繁明
九櫻設備工業(株)	高安 秀幸	(株)大和商会	玉置 哲也
(株)クドウエンジニアリング	田浦 明敏	高砂熱学工業(株)大阪支店	小島 和人
(株)ケンシヨウ	熱田 敏広	(株)タカネツ	高木 徳康
五建工業(株)大阪支店	安田 実	田丸産業(株)	堀田 高志
斎久工業(株)大阪支社	浅井 克巳	(株)テクノ菱和大阪支店	星野 宏一
三機工業(株)関西支社	白木 博之	東洋工業(株)	谷本賢太郎
三建設備工業(株)大阪支店	後藤 逸文	東洋熱工業(株)大阪支店	平田 順一
(株)三晃空調大阪本店	文田 秀夫	西川設備工業(株)	関田 一也
三神工業(株)大阪支店	八坂 巖男	(株)錦	廣田 典子
三宝電機(株)	井上 清人	(株)西原衛生工業所大阪本店	澤田 憲治
(株)三冷社西日本支社	金子 達哉	日建設備工業(株)	三井 正雄
(株)JR西日本テクシア大阪支店	村上 茂夫	(株)日設関西支店	古橋 誠治

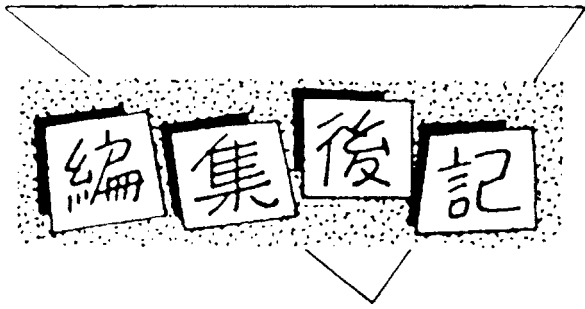


会 社 名	代表者氏名	会 社 名	代表者氏名
日本管工業(株)大阪営業所	小野 直人	(株) 北 祥	澤村 幸雄
日本ファッション(株)大阪本店	細田 昌克	(株) 前 田 商 会	前田 隆司
日本メックス(株)関西支店	谷島 錦吾	(株) マ サ キ 設 備	正木 康晴
(有) 原 設 備	原 良一	丸 住 (株)	吉田 博子
日比谷総合設備(株)関西支店	古閑 一誠	美 和 設 備 工 業 (株)	栢瀬 秀樹
(株) 一 二 三 工 業 所	一二 健夫	柳 生 設 備 (株)	福地 文雄
(株) 不 二 設 備 工 業 所	水田 幸宏	(株) 柳 澤 設 備	柳澤 満弘
不 二 熱 学 工 業 (株)	近藤 康之	山 田 工 業 (株)	西方 盛実
富士古河E&C(株)西日本支社	宗清 公彦	若 林 設 備 工 業 (株)	若林 尚史

賛 助 会 員

(66社)

会 社 名	代表者氏名	会 社 名	代表者氏名
朝日機器(株)大阪支店	加藤 淳一	(株) 大 和	岩佐 和清
アズビル(株)ビルシステムカンパニー関西支社	武田 和行	高 井 水 栓 (株)	高井 徹
アルファ・ラバル(株)大阪支社	酒井 雅史	タ カ ラ 通 商 (株)	渡辺 晃
安 藤 (株)	安藤 康雄	(株) 多 久 製 作 所 建 築 ・ 設 備 カ ン パ ニ ー 中 日 本 営 業 統 括 部	清水 正行
イシグロ(株)関西ブロック	浅利 政史	(株) タ ブ チ 大 阪 特 販 部	小西 伸二
因幡電機産業(株)	田代 浩明	テ ラ ル (株) 大 阪 支 店	若林 聡
井下機器(株)大阪支店	井下 光泰	(株) 電 巧 社 大 阪 支 店	林 昇
英 和 商 工 (株)	尾名 亮三	東 西 化 学 産 業 (株) 大 阪 本 社	河野眞一郎
荏原実業(株)大阪支社	安部 奨介	東 テ ク (株) 大 阪 支 店	糸満 睦夫
(株) 荏 原 製 作 所 西 大 阪 支 店	宮澤 一夫	T O T O (株)	吉田 伸典
(株) オーケーエム大阪支店	岡崎 洋	T O T O 関 西 販 売 (株)	妹尾 昌一
オ ー ケ ー 器 材 (株)	山田 進一	東 洋 バ ル ヴ (株) 大 阪 営 業 所	小吹 雅則
(株) 大 岩 マ シ ナ リ ー 関 西 支 社	金澤 広昭	(株) ニ シ テ ッ ク ビ ル シ ス テ ム 事 業 部	藪川 洋一
(株) カ ナ デ ン 関 西 支 社	井口 明夫	ニ ッ ケ イ (株) 大 阪 営 業 所	田中 広
川重冷熱工業(株)西日本支社	島田 洋一	日 製 電 機 (株) 大 阪 支 社	桂井 善章
(株) 川 本 製 作 所 大 阪 支 店	三木 久雄	ニ ッ タ (株)	白石 敦士
北九州空調(株)大阪営業所	渡邊 定男	日 本 電 技 (株) 大 阪 支 店	眞明 良信
木村工機(株)大阪営業本部	登尾 公彦	日 本 水 処 理 工 業 (株)	川西 昌史
協立エアテック(株)大阪支店	宮田 篤史	(株) 日 阪 製 作 所	三宅 規夫
空研工業(株)大阪支店	塚本 法宏	日 比 谷 通 商 (株) 関 西 支 店	石橋 英博
(株) 古 島 大 阪 支 店	藤井 良夫	(株) 扶 洋	横田 好明
(株) コスタコーポレーション本社	逸見 克孝	(株) ベ ル テ ク ノ 大 阪 支 店	松尾 英樹
三 和 鋼 管 (株)	藤井 洋央	北 勢 工 業 (株) 本 社 営 業 部	北山 秀晴
ジョンソンコントロールズ(株)大阪支店	吉田 勝彦	三 菱 電 機 冷 熱 機 器 販 売 (株) 関 西 支 社	大橋 章二
新晃工業(株)大阪支社	道端 徳昭	森 松 工 業 (株) 大 阪 支 店	齋木 慎嗣
(株) 振 興 社 設 営	楠 幸隆	(株) 大 和 バ ル ブ 大 阪 支 店	湯浅 雅宏
新 日 本 美 風 (株)	荒牧 太郎	ヤ マ ト ヨ 産 業 (株)	大野 賢二
シンワ工業(株)大阪営業所	塩月 亨	ヤ ン マ ー エ ネ ル ギ ー シ ス テ ム (株) 大 阪 支 社	中村 哲也
住友商事マシネックス(株)大阪オフィス	才本 幸治	ユ ア サ 商 事 (株) 関 西 支 社	岡部 文雄
ゼ ン シ ン (株)	寺西 勇	(株) ユ ニ ッ ク ス 大 阪 営 業 所	川口 寛
(株) ソ エ ダ 関 西 支 店	小山 尚郎	(株) L I X I L 関 西 P J 支 店	金岡 寛之
タイヨージョイント(株)大阪営業所	山口 聡	菱 電 商 事 (株) 関 西 支 社	吉田 智昭
(株) ダイキアクシス大阪支店	野村 宗克	リ ン ナ イ (株)	児玉 宅央



# 編集後記

7月から働き方改革の法律が公布されたが、そもそも「働く事の本質」を考えないで「働き方」を議論する事は出来ないと思う。

仏教に六波羅蜜（布施・自戒・忍辱・精進・禪定・智慧）と言う修業方法がある。その中の「精進」とは一生懸命働きなさいという事であり、禅宗では坐禅だけではなく掃除などの労働も修行としている。まさに我々も一生懸命に仕事をする事が精進であり、修行の一つとして受け取るべきである。もちろん考え方は千差万別で自由であるが、出来るだけ少ない労働で出来るだけ高い収入を得ると言う考え方が主流になり、そのため労働を軽視するようになった事が危惧される。働かなくなった人が増え、働かない若者の育児放棄や虐待などは、まさに労働を軽視する考え方に根がある。

一生懸命に働くという事は素晴らしい人間性を育ててくれる。労働時間などの「働き方」ばかりに目が行って「働く事の本質」に気づかないのは、もったいない話だ。(Y. K)

社内研修でオーストラリアのケアンズを訪れた際に、現地のガイドから聞いた話を一つ紹介します。市内から郊外に出ると、コアラの餌として有名なユーカリの大木がたくさん生えています。ユーカリの葉には毒があって、コアラしか食べることができない、というのは有名な話で皆さんもよくご存知だと思います。

それとは違う、もう一つユーカリにまつわるちょっと怖い話を聞きました。オーストラリアの広大な森林では、たびたび自然発火による山火事が発生するそうです。実はその犯人がユーカリらしいのです。

葉から揮発性の油を出し、それが可燃性のガスとなり、何らかの原因で着火するそうです。それで辺り一面焼け野原になるかと思えばそうではなく、水分をたっぷり蓄えることができるユーカリだけは、生き残ることができるそうです。ライバルはすべて焼き尽くし、それを肥やしに自分たち

はどんどん増えていく、ちょっと怖くありませんか？ (J. N)

6月に発生した大阪北部の直下型地震は建築物へ大きな被害をもたらしました。特に設備配管の損傷は大量の水漏れなどで、工場の事業用機械設備が二次被災し、事業継続できなくなることも想定されます。

今回、ある工場に駆け付け修理し、二次被害を防止、事業継続に大きな貢献があったと感謝状をいただきました。私ども建築設備工事を事業とするものとして、新增設はもとより、維持保全・緊急対応、事業継続関与でお役にたてたことで、現場担当者とともにとても嬉しく、光栄に感じたところです。

空調・衛生工事の担い手を確保するためにも、長時間労働回避や休日確保等に関する施策も働き方改革として加速します。今、7月中旬、初旬の西日本豪雨直後に酷暑が襲っています。建設現場の作業環境改善、熱中症防止など基本施策も確実に実施していきましょう。(I. K)

さる6月18日に発生しました大阪府北部を震源とする地震及び7月5日から6日にかけて発生しました西日本を中心とする豪雨において被災された皆様、関連企業の皆様には心よりお見舞いを申し上げますとともに、一刻も早い復旧・復興をご祈念申し上げます。

さて、本号より、表紙のイメージを一新しましたが、いかがでしょうか。

編集に携るメンバーも、新たな気持ちでより充実した紙面づくりに取り組んでまいりますので、今後ともご愛顧の程、よろしくお願い申し上げます。

(S. H)

## 大空衛 第83号

平成30年7月31日発行

編集人 広報委員会

発行人 一般社団法人 大阪空調和衛生工業協会

〒541-0052

大阪市中央区安土町1丁目7番20号

新トヤマビル3階

Tel 06 (6271) 0175

Fax 06 (6271) 0177

E-mail: osakakueikyo@tenor.ocn.ne.jp

URL <http://daikuei.com>

印刷 新阪神印刷株式会社



一般  
社団法人

大阪空気調和衛生工業協会

機関誌 第 83 号 (夏季号)